

不便であぶないマイナ保険証

国は現行の健康保険証を2024年秋には廃止し、マイナンバーカードと一体化した **マイナ保険証** にすると表明。県が管理する国保も同様です。

マイナンバーカードの取得は法的に「任意」であるにもかかわらず、医療機関の受診に欠かせない保険証を「人質」として、強制的にマイナンバーカードを取得させようというものです。低迷するカード交付率（約5割）を一気に進める狙いです。

マイナ保険証

カードリーダー



パネルタッチ
とか苦手...

マイナ保険証 本当に便利なの？

がえってめんどくさい！

	これまでの健康保険証	マイナ保険証
交付時	そのまま使える。	マイナポータルかセブン銀行 ATM で登録。4ケタのパスワードが必要。
更新手続き	毎年、新しい保険証が郵送で送られてくる。	5年ごとに、自分で役所まで行き更新手続きをしなければならない。
受診時	月に一度、窓口提出するだけ。	受診のたびに、窓口のカードリーダーで顔認証チェックをしたあと、2つの画面にタッチ。自分でやらなければならない。

- 千葉県内の医療機関におけるカードリーダーの普及率は、わずか**28.7%**。小さな病院では「システム改修など負担が大きいので、閉院するしかない」という声も広がっています。

マイナ保険証 やっぱ危険！



マイナ保険証について皆様の声をお寄せ下さい。

- ！マイナンバーカードは個人情報の塊。データは集約され企業に提供されかねません。保険証として持ち歩くと、紛失・盗難にあう可能性が大きくなり、最悪、詐欺グループに悪用される危険性が...
- ！マイナポータルの利用規約には、「利用者がシステム障害や情報漏洩で損害を被っても、デジタル庁は一切責任を負わない」という項目があります。マイナ保険証はごり押しなのに、トラブルば「自己責任」です。

佐倉の

給食をオーガニックに署名活動に取り組んでいます！



10月22日染井野七井戸公園で署名活動をしました。

千葉県は来年1月から、第3子以降の小中学校の給食費を無償化する予定で、9月県議会で3億2000万円の予算を計上しました。無償化と共に進めるべきは、給食のオーガニック（有機）化です。子どもたちが食べる食材は無農薬のものが最適です。

各地で進むオーガニック

千葉県内では、いすみ市が有機米100%の学校給食を実現し、野菜食材の有機化も進めています。木更津市も積極的に取り組んでいます。

両市とも、ゼロからの出発でしたが、今では有機生産者が増え、子育て世代の移住も盛んとなり、街おこしとしての実績をあげています。

佐倉市は？千葉県の役割は？

佐倉市は、地域ぐるみで有機農業に取り組む「オーガニックビレッジ」を宣言。しかし、学校給食については具体的な計画はありません。

県内格差をなくすのは県の役割です。有機農業の技術指導、有機食材の安定的な流通網の構築等を、県に対して求めています。

署名はこちらから

署名用紙ダウンロード用QRコード



佐倉市の学校給食のオーガニック化にご協力を！

ゲノム編集トマト苗の無償配布

来年、ゲノム編集トマトの苗が小学校で配られる？！

- ◆ゲノム編集食品は規制がなく、安全審査も行われません。
- ◆「健康に良い」などと宣伝されていますが、新たな毒性やアレルギー、がん誘発物質の可能性もあり要注意！
- ◆ゲノム編集トマトの開発企業は宣伝のため、来年、小学校にゲノム編集トマトの苗を**無償配布**する計画です。



県内全自治体で意向調査を実施

市民ネットワークでは県内54市町村に、苗を受け取らないよう意向調査を実施。多くの自治体が態度保留の答え。佐倉市は慎重にするとの姿勢を示しました。

あれから3年 2019年10月25日豪雨

水害対策はどこまで進んだのか

2019年10月25日豪雨では、鹿島川と高崎川の合流地点の周辺で深刻な浸水被害が起きました。その後、何度も現地を訪ね、市議と連携しながら議会質問や対策検討を重ねています。



2019年10月26日鹿島橋付近

10/25豪雨被害

家屋浸水
床上 18 棟
床下 50 棟
崖崩れ家屋被害 10 棟
土砂崩れ 118 件
道路冠水 61 件
通行止め 8 路線

10月25日豪雨では、高崎川上流の八街市で、1時間雨量100mmを記録。大量の水が下流に流れ、鹿島川との合流地点で越水が起きました。八街市での流下調整を訴えています。



鹿島川が流れ込む印旛沼の事前排水をやらなかったため水位が下がらず、河川からの水が溢れ出し、被害を大きくしました。11月11日鹿島川の状況を確認

その後の対策

- ◆鹿島橋より上流の右岸の築堤工事（堤防強化と嵩上げ）実施。
- ◆印旛沼の予備（事前）排水の基準を緩和し早期排水が可能に。
- ◆利根川への排水能力を高めるため、長門川の護岸工事と堤防嵩上げなどが進行中。完成を急ぐよう求めています。

田んぼダム 11/11 佐倉市にヒアリング



市役所で仕組みの説明を受けたあと、飯田の現地に移動。畔をしっかりと補強することがコツです。

「田んぼダム」とは、豪雨による浸水被害を防ぐため、水田に一時的に水をためる手法です。



9か飯田地区では今年7月、田んぼダムの農家が参加する。

路上駐車にご用心！ 10/6 警察常任委員会で質問

佐倉署が委託した駐車監視員が、重点地区に指定された住宅地を巡回し、路駐の車に駐車違反ステッカーを貼っています。（反則金1万5千円）ほんの数分でも貼られるので要注意！八千代署は駅前の繁華街を重点地区に指定。佐倉署はなぜ車の通行量の少ない住宅街を指定しているのか質問。しかし明快な規定はないとのこと。詳細→

